

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

飽きずに基本を追求する 山崎 将志 (アジルパートナーズ代長)

1. 消費者向けビジネスは、個人の時間の奪い合いといわれてきた。かつては専らプライベートの時間を奪い合っていたのだが、職場にパソコンが 1 人 1 台導入され職場でインターネットが使えるようになったことで、仕事の時間をいかに奪うかが主戦場になっている。
2. 時代の流れが速いせいか、新しい手法に飛びつく傾向も目立つ。商品開発でも同様に、コンビニの棚を見ている、商品のライフサイクルが短くなっていると実感する。だが、飽きているのは消費者ではなく、提供者のほうではないだろうか。あらゆる商品は、立ち上がりは収益性が低く、成長期を経て、衰退期に最も利益が出るものだ。米国の優良企業は、時間をかけてじっくり販路を広げ、客を増やし、衰退期の高収益ビジネスを満喫するという手法を知っている。それに対し日本企業は、果実を得る前に自ら諦めてしまう例が多い気がする。
3. 業績を伸ばしている人は、単純だが大事なことは飽きずに続けている。残念な人は、自分から飽きてしまう。飽きるのは客ではなく、自分であることを肝に銘じビジネスの基本を追求すること。スピードが強調される時代だからこそ、それが重要なのだ。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2013 年 2 月 16 日号)

人事・労務について

快適な眠りが経済効果を生む

1. 睡眠不足や不眠による一瞬の気の緩みが事故や失敗を招き、人生を台無しにしてしまうこともある。日本大学医学部精神医学系の内山真主任教授らの研究によると、眠気による交通事故の増加、作業効率の低下や遅刻・欠勤などの影響による経済損失は、合計で年間 3 兆 4000 億円に上るといふ。逆に言えば、十分な睡眠時間をとり、質の高い睡眠を得ることができれば、経済効果につながっていく。
2. 質の高い睡眠とは、途中で目覚めることなく、熟睡感を味わえる睡眠のこと。眠りの質は、人生の質 (QOL) に反映される。人生の 3 分の 1 は睡眠時間として費やされるのだ。社員の睡眠状況を確認することも、今後重要性を増すことになる。
(参考:「野村週報」:2013 年 4 月 22 日号)

新規成長分野

新たな職種

1. 20 年後、日本人はどんな仕事に就いているのだろうか。これからのキーワードは、IT、グローバル、(環境など) 社会問題の三つである。インターネットにより個人の行動履歴が把握しやすくなったことで、データサイエンティストなどの新しい職種の需要が急増すると予想される。
2. データサイエンティストとは、統計的な手法を用いて大量のデータを解析し、有意な結論を導き出す分析官。またグローバル化では、一例として、回転ずしは一皿 100 円でおいしくて、店も清潔。こうした日本のサービス系の強さは、世界に通用する。環境・エネルギー分野では、昨年電力価格買い取り制度が施行され、今後は、発電所の保守・運営管理を行なうスタッフに需要が移っている。
(参考:「週刊東洋経済」2013 年 3 月 2 日号)

古典に学ぶ

水にまなべ (解説) 最高の善とは水のごときものをいう。水は万物を助け育てながら自己主張もせず、だれしも嫌う低きへ低きへとくだる。だから「道」に似ているといつてよい。水、それは、位する所は、低い。心は深く静かである。あたえるに、わけへだてがない。言動に、いつわりがない。おさまるべきときには、必ずおさまる。はたらきは無理がない。時に従って、変転流動して窮まることがない。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」): 徳間書店